

日本語教師養成・研修推進拠点整備事業

中部ブロック 2025 年度 研修会

アンケート結果

「日本語教育の参照枠」を活用した 授業づくりのためのワークショップ

日時

2025年 6月29日 日 10:00～16:00

昼休み 12:00～13:00

9時30分より開場・受付

会場

南山大学 Q101教室
名古屋市昭和区山里町18

オンラインでの
開催はございません。

講師

柏谷 涼介 セントラルジャパン日本語学校
久保田 文子 京進ランゲージアカデミー
佐久間 みのり 横浜デザイン学院
野田 敏郎 国際ことば学院
松葉 優子 浜松日本語学院

研修目標：

- 「日本語教育の参照枠」を活用した授業づくりのプロセスを体験し、授業活動を自ら考えることができるようになる
- さまざまな機関の日本語教育関係者との協働的活動を通し、「日本語教育の参照枠」を活用した授業についてともに考えられる継続性のある関係作りをめざす

研修内容：

- ① 学習者の課題について考える
- ② 学習活動の概略について考える
- ③ 評価と学習活動を具体化する
- ④ 研修をふりかえる

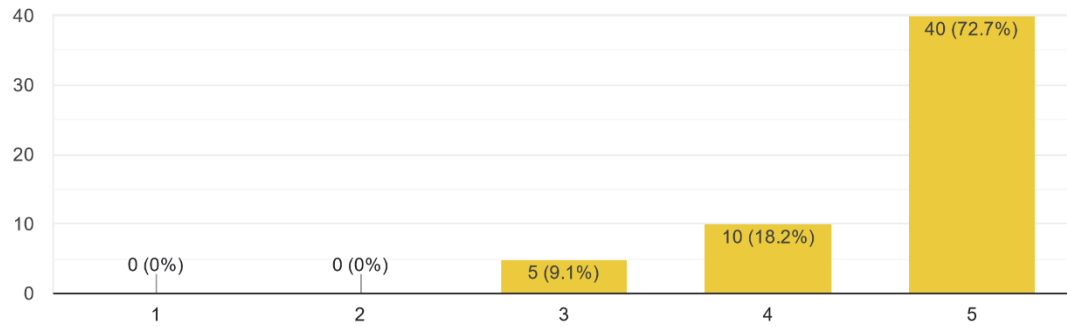
【申込数/参加数/アンケート回答数】

	対面のみ
申込者数	100 名
参加数	88 名
アンケート回答数	55 名

【対面参加者アンケート結果】

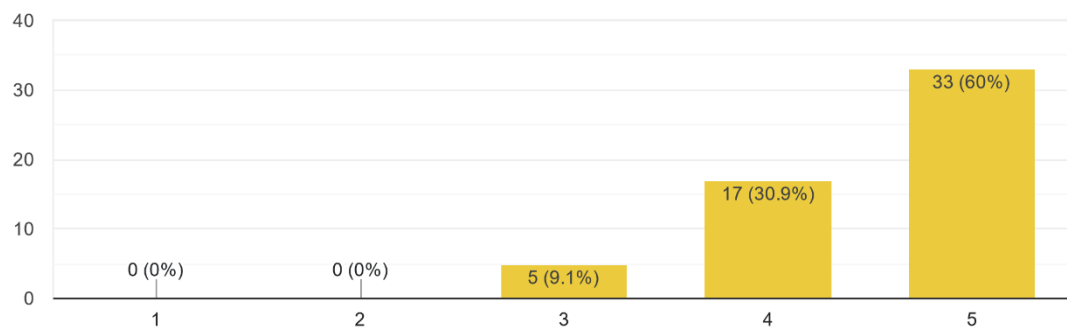
研修会に満足されましたか

55 件の回答



研修会に期待していた内容は得られましたか

55 件の回答



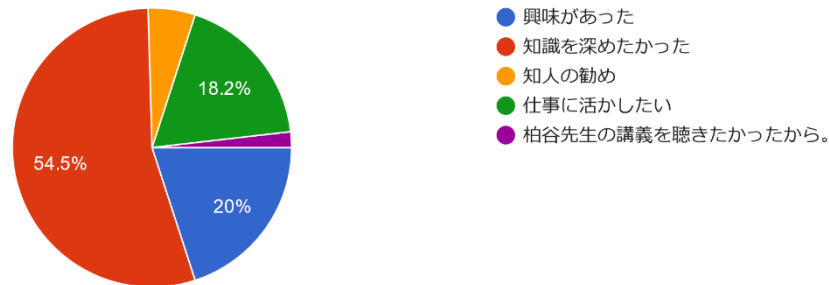
研修会を知った媒体は何ですか

55 件の回答



研修会に参加した理由を教えてください

55 件の回答



研修会で新しく知ったこと、印象に残っていること、参加してよかったことなどお書きください

- とても良かった
- 「参照枠を基準にし、授業づくりにつながる」と実感できた。
- 参照枠は綿密に考えられている
- 参照枠を活用した授業や評価について考える機会を持てたこと。
- 学習者の課題から考えるキャンドウ
- ルーブリックの作り方
- モジュールボックスの使い方がよくわからなかったので、今回学べてよかったです。
- モジュールボックスの使い方と色々な先生と話せたこと
- 「わかめ」のお話、たいへん感銘を受けました。
- 参照枠を参照しやすくなるようなスプレッドシートが用意されていること
- 参照枠を使った授業づくりで正解は無いということが 1 番学びになりました。
- 実際にルーブリックを作成する作業をしながら、参照枠を読み込むことができたことがよかったです。今まで日本語参照枠や SEFR の研修会に参加しましたが、今日が 1 番深く自分ごととして捉えられた気がしました。でも難しかったです。もう少し頭を柔らかくしてトライしたいです。同じグループになった先生方とたくさん話せたことも収穫でした。日本語教育をさらに多角的に見ることができたように思います。大変勉強になりました。ありがとうございました。
- 参照枠から実際の授業への落とし込み方の実践ができたこと
- モジュールボックスをいただき、その上でグループワークを行うことで 1 人では思いつかなかったことを皆さんと協働することで、明日からまた新鮮な気持ちで学習者と向き合えそうです。
- 働き方に関わらず、熱心に勉強する日本語の先生がたくさんいらっしゃることに。
- モジュールボックスの使い方がよくわかった。
- 参照枠から具体的なカリキュラムを作成する方法が理解できたこと

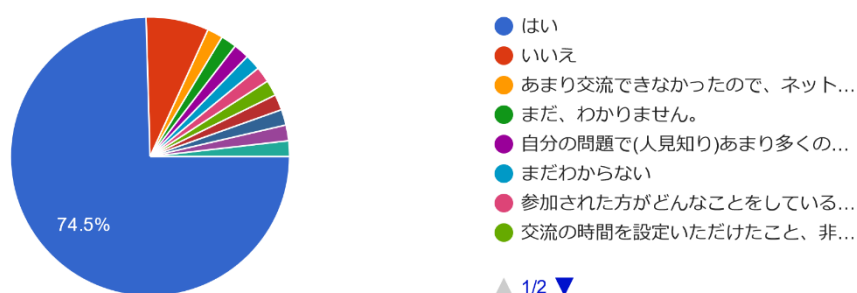
- 実際に授業をする際は、学校が決めたシラバスやカリキュラムや教材などありきで、そこから準備がスタートするわけですが、そうであっても学習者の課題から授業を組み立てていくという視点を忘れてはいけないことを痛感しました。
- 今回の研修をきっかけに、日本語教育の参照枠、CEFR を勉強でき、また、研修を受講し、知識もっと深めていこうと思いました。
- 参照枠について、活動 Cando にばかり注目して、方略や能力にはあまり目が向いていなかったことに気づいた。
- 実際に授業づくりを体験できたこと。他の方とたくさん交流ができ、皆さんがどんなことを考えているかわかったこと。
- 講師の先生方のご説明・ご進行の適切さと、グループワーク・個人作業の時間配分の適切さと内容が特によかったです。多くの方と名刺交換できたことも今後ネットワークづくりのいいきっかけになったと思います。
- ワークシートを使用して体験したことで、モジュールボックスの使い方において勝手に判断していたところが明確化された。更に、学習活動の組立とルーブリックの作り方を学習できた。
- ルーブリック作成を通して、自分の理解のあやふやさがよくわかりました
- モジュールボックスの使い方
- 参照枠の授業への取り入れ方
- 他校の教師との情報交換
- 日本語教育の参照枠について、ワーク形式で改めて体系的に理解を深められたこと、また現場の先生方がどのような点で躓きやすいのかを実際に知れたことが非常に意義深く、今後の企画立案の上で参考にさせて頂きたいと思っています。
- 「現職」ではない私に参加を承認いただけたこと、改めて皆様に御礼申し上げます。本当にありがとうございました。
- 同志がこんなにいるのかと心強く思いました
- タスク志向の授業の作り方
- 交流の時間をゆったり取っていること
- 参照枠の使い方
- モジュールボックスの存在を初めて知りました。
- 対面だったことで委員の先生に直接質問できたこと、研修テーマから外れたことも話せたこと
- ケーススタディ的な授業デザインができることに気づきました。
- 「日本語教育の参照枠」としての評価基準を、学生のみならず進学先や企業の方にも知ってもらうことを、今後広めていきたいと、グループでお話を聞いて、今は、JLPTに囚われていることに気づけました。改めて、評価基準の重要性を再確認できよかったです。
- 参照枠を使ったカリキュラム作成のセミナーに参加するのは2回目でした。
- 前回はオンラインで心細く進めましたが、今回は周りの方ともお話ししながらできたので、途中で心折れずに最後まで取り組みました！

- モジュールボックスの使い方、活動の評価の具体的な方法を知ることができた。
- 参照枠をどのように活用したらよいか分かりませんでしたでしたが、実際に授業づくりのプロセスを体験したことで、使い方がよく分かりました。
- モジュールを使つての参照枠の活用を体験できたことが本当によかったです。
- 参照枠、cando、モジュールボックスなど漠然としかわかっていなかったものが理解できたので、参加してよかったです。
- ルーブリック評価の作り方
- モジュールボックスを活用した授業の組み立て方が新鮮でした。
- これまで学習者の課題を元に授業や研修を考えてきたつもりではありましたが、ひとつのタスクを達成するために必要な Can-do を「どんな能力がどの程度必要か」と洗い出してみると、自分では見えていなかった活動や方略が第三者の視点で捉えられることに気づけました。「日本語教育の参照枠」の存在はもちろん知っていましたが、身近に感じ便利なツールとして使っていけそうです。
- 参照枠やモジュールボックスを活用して活動や評価を考えるのはいい経験になった。ルーブリックを作るのも初めてだったので、なかなか難しかった。
- 周りの皆さんに気軽に相談できる環境もよかった。
- モジュールを実際に使用したこと
- ルーブリックの存在は知っていましたが、具体的に作成したことがなかったので、為になりました。一人では難しいと感じましたが、グループの方々と話しながら進めることで、疑問点を解決しながら作成することができたと思います。
- 普段は、日本語教育の参照枠の分野別 Cando「生活 Cando」に基づいたカリキュラムの日本語教室に関わっています。研修では、参照枠の理念、内容に立ち戻ることができたり、モジュールボックスを教えていただいたことで「活動 Cando」以外の Cando を意識して授業を計画する体験ができたりしてとても勉強になりました。また、ひとつの Cando について時間を掛けてルーブリックを考えることで、縦軸のレベルを意識した評価の大切さを改めて実感しました。
- モジュールボックスを通して、参照枠の理解を深めることができました。ありがとうございました。
- グループの方と話せたことです。
- 内容は、昨年度も同じ方が主催のものに参加させていただいたときと同じだったので、少し理解は深まりましたが、あまり印象は変わりませんでした。
- 参加してよかったこと2点 ①横のつながりができたこと ②以前からもっていた疑問のいくつかが晴れたこと
- モジュールボックスを活用することで、参照枠の言語方略や言語能力も含めて全体を意識することができて、とても便利だと思いました。グループの方との共有が、情報交換にもなり、とても有意義でした。あと漫談のおかげで、楽しみながら理解することができました！

- 色々な教育現場の方と話せてよかったです。
- ルーブリックを初めから作るのはとても難しいと思いました。
- モジュールボックスを詳しく見たことがなかったので、今回使用方法含めてわかりました。
- 参照亭の楽しくてわかりやすい説明が良かった。YouTube で続けて発信して欲しい！
- 焼肉食べ放題の例で、とっつきにくい題材だと思っていたワークショップの内容も学生の身近な話題から入ることができてとても分かりやすかった。

研修会を通じて新たなネットワークができたと感じていますか。

55 件の回答



研修会を通じてネットワークができた方は、どのようなネットワークができましたか。

- 名刺交換
- 自分とは異なる立場の方からの話を聞くことができた。
- 授業や教科書についてお話できました。
- 日本語教育に関係した方々と知り合う機会がらもてました。
- 大学などの関係者とのネットワーク
- 緩やかな繋がりができた
- 学校で使用予定のテキストの著者がお隣の席で、交流できたのでよかったです。
- 昔の知り合いに再会
- 他県の日本語学校や行政ボランティアの方の話を聞くことができました。
- 日本語学校や地域で働いている方に知り合えた
- 過去に知り合った方と再会することができました。
- 名古屋市の夜間中学を語る会の方とお話できました。元々子ども達に日本語と教科を教える仕事でしたかったので、現状や活動について教えてもらいました。
- いろいろな方とお話はできましたがネットワークと呼べるまでには至りませんでした

- 日本語学校勤務の方とつながることで、私一人だけ悶々と悩んでいたと思っていたことが、皆さんも同じように悩み心配事を打ち明けることで気持ちが少し楽になりました。
- 日本語学校の主任教員のネットワーク
- これまで出会うことのなかった日本語教師の方々と知り合えた。
- 名古屋地域以外のネットワークができた。
- 参加された方がどんなことをしているかなどを聞けて刺激になりました
- 同じ教科書を使っている、他の学校の先生方
- 子どもに対する日本語教育をしている方”
- 他校の方と繋がることができました
- 同じ時期に文科省に申請する学校の方とのネットワーク、講師の採用活動につながるネットワークができました。
- ネットワークまではいかないが、南山大学、愛知静岡の日本語学校関係者と知り合うことができた。
- まだわかりません
- 同じグループで話し合った方だけではなく、名前だけ知っていてお会いしたことはなかった方にもこの研修でお会いすることができました。
- 連絡先の交換と今後の情報交換
- 名刺交換はさせて頂けたが、特にグループ以外の方々とのせつかくのご縁をどのように繋いでいくのか課題だと感じています。
- 学びのネットワークです
- 同グループの先生方と情報交換できた。
- 同じグループの方、以前同じ職場で働いていた方
- 気後れしてあまり声をかけられなかった
- 教師同士で話ができる人が増えました。
- 同じ班だった先生方と情報交換グループができました
- 一度、連絡を取ってみます。
- 悩みを話すことができたり、聞くことができ、心のつながりを感じることができました。
- お近くの席の方とはお話できました。
- 認定に向けての準備を進めている人たちと有意義な意見交換ができた。
- 大学院で研究されている方や、ボランティアで教室を運営されている方など、日本語学校以外の場所(自分と違う場所)で活躍されている方々とお話することができ、色々な視点から見た日本語教育を教えていただきました。また、日本語学校で働いている大先輩方からもお話を聞くこともでき、大先輩でも悩みがあると知り、少し安心しました。
- まずはグループワークのメンバーとつながりができました。また、共通の知り合いがいることがわかった方ともつながれました。
- その他と回答しています。

- 知り合いが増えた
- グループ活動が多かったのも、同じグループの方と情報共有や違う立場からの意見交換ができました。
- 日本語教師同士のネットワーク
- 久しぶりに養成講座の同期に会えたこと
- 様々な働き方をされている先生方と交流ができました。
- 自分の現場が、静岡県西部の地域日本語教育関連ですので、愛知県の大学・日本語学校の方々のお話を伺えたことが勉強になりました。参照枠という共通のテーマがあったことで現場のお話も具体的に教えていただき、参考になりました。
- グループ活動や、知人を介したネットワーク。
- グループの方が話しやすく、的確なアドバイスもくださり、とてもいい時間になった。以前に会ったことがある方と再会できた。うちの専門学校に進学してくださっている学校の先生とお話できた。
- 他校の先生とのつながり
- 名刺交換はしましたが、今後続くようなネットワークはできませんでした。ただ、これから何度か顔を合わせる機会があれば、ネットワークが構築されていくだろうと思います。
- 1日だけだったのでネットワークとまではいかないかもしれませんが、次にまた同じような研修会で出会いできればもっと色々な情報交換ができる関係になると思います。
- 名刺をいただいた方がいますが、ネットワークまでには至りませんでした。
- 普段お会いすることがない方と会うことができました。
- 今は就労者(技能実習生)に教えているが、2年後に育成就労制度に変わるにあたり日本語学校への転職を考えている。理由として、令和3年に日本語教育能力試験に合格しているのでE-2ルートでの日本語教員資格を取得を目指すため。なぜ留学生を教える事にしたのかと言われたら「就労」の認定を受けている教育機関が2つしかなく、実質1年以上の就労が難しいからです。今、専任職として安定した収入も捨てざる得ない状況です。じゃあ、今のままの会社で働き続けて、1から日本語教員の資格を取れば良いという意見もあるかもしれませんが余りに不利な状況と言わざるを得ません。そんな話をしていたら、お知り合い(主に研修等で出会いする)に再会でき、新しく日本語学校の立ち上げをするとの事で、会社で部長、主任と話をする事になりました。人との繋がりは大切だと感じました。
- 岐阜と愛知の日本語教師の方。LINEで繋がりました。

講師への質問があればお書きください。(ただ、すべてに回答はできない場合があります。

回答は事業 HP 上で共有します。)

- 恥ずかしながら参照枠の中で私が1番理解が浅い部分が「能力、方略、テキスト」can doの部分です。この部分をどのように評価に入れ込めばいいのかまだ十分に理解できておりません。ゴールから逆算して、このレベルだとどこまで評価するのかを考え、指導しないといけなのかなと漠然と考えているのですが、今日の研修では、そこが不明瞭なままで、うまくルーブリックを作成することができませんでした。先生方のお考えや指導案がありましたらぜひ教えてください。
- 今後は、どのような活動をされますか？
- 成績をどうするか、評価をどう成績につなげるかを教えていただけるとありがたいです。
- ワークシートの2)でモジュールを設定する際、2個選ぶのが適切でしょうか？課題の設定次第では1個の場合や3個の場合も考えられると思います。
- ルーブリックで二つの記入例が示されました。どちらも4段階評価でしたが、4段階の理由がありますか
- 参照枠を年間スケジュールやカリキュラムに落とし込むための留意点などが知りたいです。例えばモジュールボックスをどのように当てはめるかなどです
- 評価も含めてイメージできました。本当にありがとうございました。
- 参照枠に基づいて立てられたカリキュラムを見てみたいです
- モジュールボックスは国内の日本語学校のみを想定しているものなののでしょうか。
- ルーブリックはどのくらいの数、種類用意して新学期に入りますか。だいたいの目処が知りたいです
- 今回のような研修の講師を務められる方は、東海地域にどのくらいいらっしゃるのでしょうか？
- 今回は【留学】のモジュールボックスでしたが、ほかの分野【就労】【生活】などもあるのでしょうか。あればお教えいただきたいです。
- 楽しく学べました。ありがとうございました。
- 4「課題から学習活動を考える」の項目で評価に関係がありそうなその他の要素というのがありますが、具体的にはどのようなものがありますでしょうか。
- 評価を考える時、Can-doは1つの達成目標に付き1つずつ考えるべきか、場面でいくつかの出来ることを達成して総合的に出来たかどうか評価すべきなのか、またどちらもか…整理できていません。

その他、今後取り上げてほしい講演テーマや運営などについて、ご意見などありましたらお書きください。

- 防災 最新情報 新しい教科書などについて
- また機会がございましたら、ぜひ参加させていただきたいと思います。

- 引き続き評価について
- カリキュラム作成について
- アドバイジング・自立支援
- 日本語教育の変遷について
- 排外主義に抗うために日本語教師にできること
- 児童に向けた日本語教育について
- 読み書き能力と日本社会におけるハイリテラシーとの関連→共に生きる社会とは？
- 日本語教員試験の聴解問題対策講座
- 参照枠に関する次のステップの進め方
- 日々反省を繰り返し、準備して授業に臨んでいるつもりですが、何しろ新しいことについていけないので、更新できることを一つでも増やして授業に活かしたいと思っています。どんなことでも刺激をいただきたく…
- 外国にルーツがある児童生徒に対する支援について取り上げていただけると嬉しいです
- せっかく交流館の時間をとっていただけるのであれば、移動のスペースにゆとりのある部屋だとありがたいです。
- 学習者の能力を JLPT の結果だけで判断されたり、文型積み上げの教育がまだまだ根強いと感じているため、ぜひ今後も今回よりのようなセミナーなどを継続して行って欲しいです。
- 認定申請様式の書き方(特に様式 10)
- モジュールボックスを活用し授業を構築するにあたり、時間割との関係性を紹介していただきたい。一つのモジュールあるいは一つの Cando で何時間をかけ、その内訳はどう配分するか。学校、取り上げるモジュールで事情が異なるかとは思いますが、一事例でかまいません。それがあると、選択したテキストの各課とのマッチングがやりやすくなります。
- 評価についてもう少し詳しく勉強したいです
- ありがとうございます
- 学習者オートノミー
- 拠点事業の企画として適切なのかどうかはわかりませんが、日本語業界で起こっている特定の問題に対して、どのような解決策が考えられるかを深め、より多くの方のご意見をお聞きできる形式ですと、ネットワークの強化(その後の関係性をどう深めていくのかもイメージしやすいかも知れないと感じました。拠点事業の1回目？キックオフ？の際の延長線上のイメージです。
- いろんな価値観があり、なかなか一枚岩になるのは難しいと感じていますが、せめて同じ方向を向いていけるようにできないものかと私も日々、企画を考えている日々です。
- 弊社といたしましても、拠点事業に関して何かお力になれることがあればと考えております。
- 今後ともよろしくお願いいたします。
- 教育実践に役立つ第二言語習得理論
- 行動中心アプローチのカリキュラムの中での文法指導

- 参照枠関連の研修をまたお願いします
- ルーブリック評価の作成・使用について練習が必要だと感じたので、機会があれば幸いです。
- 1日楽しく学べました！
- 今の時点では意見がなく申し訳ありませんが、次回の講演も楽しみにしております。
- 逆向き設計、評価について、ルーブリックの作成等のテーマ
- 就労分野の日本語教育について（現状や今後の展開等）
- 「参照枠」の就労分野での活用の仕方についてチャンスがあればぜひ聞きたいです。
- 学習者のライフストーリーをうかがって、日本語教育に横断的に関わっているリアルな姿を知るような勉強会に参加したいです。
- ピアラーニングについて、実践
- 類型「生活」「留学」「就労」の3分野における「日本語教育の参照枠」の活用や、コーディネーター・教師の活動事例について学んでみたいです。
- 充実した時間ではございましたが、長丁場でしたので、もう少し途中で休憩があるとよかったですかなと思います。今後取り上げてほしいテーマとしては就労分野の日本語教育です。
- オートノミーについて
- 入口から出口まで、全体的な評価システムの構築ノウハウ
- 認定日本語教育機関に関するもの
- 参照枠と評価についてもっと深く学びたい。
- まだまだ新米なので見当が付きませんが、また面白そうな内容でしたら参加したいと思います。

ご自分の所属を選択してください(複数選択可) 当てはまるものをすべて選択してください
55件の回答

